



StorageGRID を探索する

StorageGRID software

NetApp
July 23, 2026

目次

StorageGRID を探索する	1
StorageGRIDグリッドマネージャの詳細	1
グリッドマネージャダッシュボード	1
検索フィールド	2
ヘルプメニュー	2
アラートメニュー	2
[Nodes]ページ	2
テナントページ	2
ILMメニュー	3
設定メニュー	3
メンテナンスメニュー	4
サポートメニュー	5
StorageGRIDテナントマネージャの詳細	6
テナントマネージャダッシュボード	6
ストレージメニュー (S3)	7
アクセス管理メニュー	8

StorageGRID を探索する

StorageGRIDグリッドマネージャの詳細

Grid Manager は、ブラウザベースのグラフィカル インターフェイスで、StorageGRID システムの設定、管理、および監視を行うことができます。



グリッドマネージャーはリリースごとに更新されるため、このページに掲載されているサンプルスクリーンショットと一致しない場合があります。

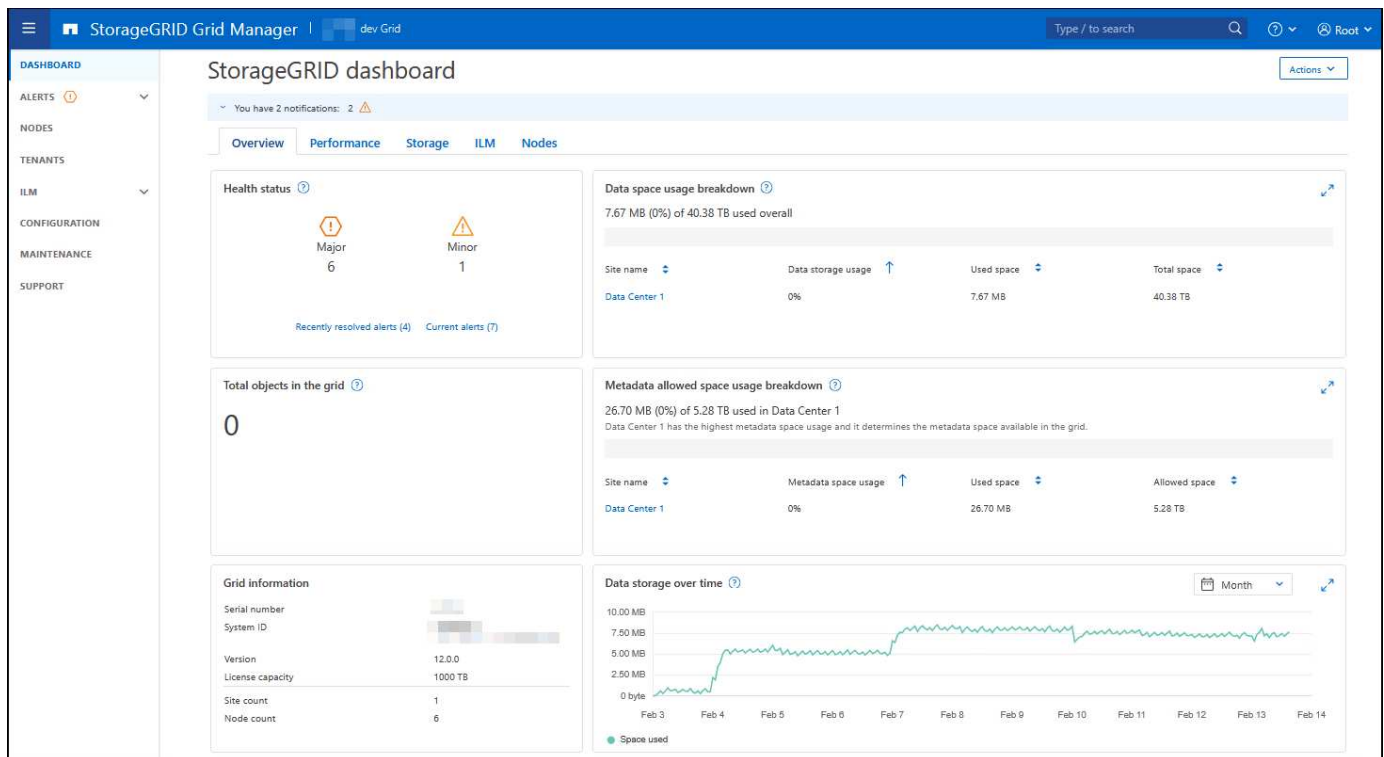
グリッドマネージャーにサインインすると、管理ノードに接続されます。各 StorageGRID システムには、1つのプライマリ管理ノードと任意の数の非プライマリ管理ノードが含まれます。どの管理ノードにも接続でき、各管理ノードには StorageGRID システムの同様のビューが表示されます。

グリッドマネージャーには、"[対応ウェブブラウザ](#)"を使用してアクセスできます。

グリッドマネージャーダッシュボード

グリッドマネージャーに初めてサインインすると、ダッシュボードを使用して"[システムアクティビティを監視する](#)"を一目で確認できます。

ダッシュボードには、システムの健全性とパフォーマンス、ストレージの使用状況、ILMプロセス、S3の操作、およびグリッド内のノードに関する情報が含まれています。システムを効果的に監視するために必要な情報が記載されたカードのコレクションから選択することで、"[ダッシュボードを設定する](#)"できます。



各カードに表示されている情報の説明については、そのカードのヘルプアイコン(?)を選択してください。

検索フィールド

ヘッダーバーの「検索」フィールドを使用すると、Grid Manager内の特定のページにすばやく移動できます。例えば、「**km**」と入力すると、Key management server (KMS) のページにアクセスできます。

グリッドマネージャのサイドバーや、構成、メンテナンス、サポートの各メニューにある項目を検索するには、「検索」機能を使用できます。グリッドノードやテナントアカウントなどの項目は、名前で検索することもできます。

ヘルプメニュー

ヘルプメニュー  からアクセスできる項目：

- ["FabricPool"と"S3セットアップ"ウィザード](#)
- 現在のリリースの StorageGRID ドキュメントサイト
- ["APIのドキュメント"](#)
- 現在インストールされているStorageGRIDのバージョンに関する情報

アラートメニュー

アラートメニューは、StorageGRID の運用中に発生する可能性のある問題を検出、評価、および解決するための使いやすいインターフェイスを提供します。

アラートメニューから、["アラートを管理する"](#)に対して次の操作を実行できます：

- 最新のアラートを確認する
- 解決済みのアラートを確認する
- アラート通知を抑制するサイレンスの設定
- アラートをトリガーする条件に対するアラートルールを定義します。
- アラート通知用にメールサーバーを設定する

[Nodes]ページ

["\[Nodes\]ページ"](#)は、グリッド全体、グリッド内の各サイト、およびサイト内の各ノードに関する情報を表示します。特定のサイトまたはノードの情報を表示するには、そのサイトまたはノードを選択してください。

テナントページ

["テナントページ"](#)を使用すると、StorageGRIDシステムの["ストレージテナントアカウントの作成と監視"](#)を行うことができます。オブジェクトの保存と取得を許可するユーザー、および利用可能な機能を指定するには、少なくとも1つのテナントアカウントを作成する必要があります。

テナントページには、各テナントの使用状況の詳細も表示され、使用されているストレージ容量やオブジェクトの数などが含まれます。テナント作成時にクォータを設定した場合、そのクォータのうちどれだけが使用されているかを確認できます。

ILMメニュー

"ILMメニュー"を使用すると、データの耐久性と可用性を管理する["情報ライフサイクル管理（ILM）のルールとポリシーを設定する"](#)を設定できます。オブジェクト識別子を入力すると、そのオブジェクトのメタデータを表示することもできます。

ILMメニューから、ILMの表示と管理を行うことができます。

- ルール
- ポリシー
- ポリシータグ
- ストレージプール
- ストレージグレード
- Regions
- オブジェクトメタデータ検索

設定メニュー

設定メニューでは、ネットワーク設定、セキュリティ設定、システム設定、監視オプション、アクセス制御オプションを指定できます。

ネットワークタスク

ネットワークタスクには以下が含まれます：

- ["高可用性グループを管理する"](#)
- ["ロードバランサーのエンドポイントを管理する"](#)
- ["S3エンドポイントのドメイン名を設定する"](#)
- ["トラフィック分類ポリシーを管理する"](#)
- ["VLANインターフェースを設定する"](#)
- ["管理インターフェイスの StorageGRID CORS を有効にする"](#)

セキュリティタスク

セキュリティタスクには以下が含まれます：

- ["セキュリティ証明書を管理する"](#)
- ["内部ファイアウォール制御を管理する"](#)
- ["キー管理サーバの設定"](#)
- セキュリティ設定（["TLSおよびSSHポリシー"](#)、["ネットワークおよびオブジェクトのセキュリティオプション"](#)、["インターフェースセキュリティ設定"](#)、および["SSHアクセス オプション"](#)を含む）を構成します。
- ["ストレージプロキシ"](#)または["管理者プロキシ"](#)の設定を構成する

システムタスク

システムタスクには以下が含まれます：

- "グリッドフェデレーション"を使用して、テナントアカウント情報を複製し、2つのStorageGRIDシステム間でオブジェクトデータをレプリケートします
- 必要に応じて、"保存されたオブジェクトを圧縮する"オプションを有効にします
- オプションで、"デフォルトのバケット整合性設定"
- "S3オブジェクトロックの管理"
- ストレージ設定（"ストレージボリュームのウォーターマーク"など）を理解する
- "消去符号化プロファイルを管理する"

監視タスク

監視タスクには以下が含まれます：

- "ログ管理の設定"
- "SNMP監視を使用する"

アクセス制御タスク

アクセス制御タスクには以下が含まれます：

- "管理者グループの管理"
- "管理者ユーザーの管理"
- 変更する"プロビジョニングパスフレーズ"または"ノードコンソールのパスワード"
- "IDフェデレーションを使用する"
- "SSOの設定"

メンテナンスメニュー

メンテナンスメニューでは、メンテナンス作業、システムメンテナンス、ネットワークメンテナンスを実行できます。

タスク

メンテナンス作業には以下が含まれます：

- "廃止措置作業"未使用のグリッドノードとサイトを削除する
- "拡張操作"新しいグリッドノードとサイトを追加する
- "グリッドノード復旧手順"故障したノードを交換し、データを復元する
- "プロシージャ名の変更"グリッド、サイト、ノードの表示名を変更する
- "オブジェクトの存在チェック操作"オブジェクトデータの存在を確認する（ただし、その正確性を確認するわけではありません）

- "ローリングリブート"を実行して複数のグリッドノードを再起動する
- "ボリューム復元操作"

システム

システムメンテナンス作業には、以下のものが含まれます：

- "StorageGRID ライセンス情報の表示" または "ライセンス情報を更新する"
- "復旧パッケージ"の生成とダウンロード
- StorageGRID ソフトウェアのアップデートの実行（ソフトウェアのアップグレード、ホットフィックス、および選択したアプライアンスの SANtricity OS ソフトウェアのアップデートを含む）
 - "アップグレード手順"
 - "ホットフィックス手順"
 - "Grid Manager を使用した SG6000 ストレージ コントローラ上の SANtricity OS のアップグレード"
 - "Grid Manager を使用した SG5700 ストレージ コントローラ上の SANtricity OS のアップグレード"

Network

ネットワーク保守作業には、以下のようなものがあります：

- "DNSサーバーの設定"
- "グリッドネットワークサブネットを更新する"
- "NTPサーバの管理"

サポートメニュー

サポートメニューには、テクニカルサポートがお客様のシステムを分析およびトラブルシューティングするのに役立つオプションが用意されています。

Tools

サポートメニューの「ツール」セクションから、以下の操作が可能です：

- "AutoSupportを設定する"
- "診断を実行する"グリッドの現状について
- "ログファイルとシステムデータを収集する"
- "サポート指標を確認する"



Metrics オプションから利用できるツールは、テクニカルサポート担当者による使用を想定しています。これらのツールに含まれる一部の機能やメニュー項目は、意図的に動作しないように設定されています。

その他

サポートメニューの「その他」セクションから、以下の操作が可能です：

- 設定する["入出力の優先順位付け"](#)
- 設定する["AutoSupport メール設定（従来型）"](#)
- 管理["リンクコスト"](#)
- ノードサービスIDを表示する
- 管理["ストレージ ウォーターマーク"](#)

StorageGRIDテナントマネージャの詳細

["Tenant Manager"](#)は、テナントユーザーがストレージアカウントの設定、管理、および監視を行うためにアクセスする、ブラウザベースのグラフィカルインターフェースです。



テナントマネージャーはリリースごとに更新されるため、このページに掲載されているサンプルスクリーンショットとは異なる場合があります。

テナントユーザーがテナントマネージャーにサインインすると、管理ノードに接続されます。

テナントマネージャーダッシュボード

グリッド管理者がGrid ManagerまたはGrid Management APIを使用してテナントアカウントを作成すると、テナントユーザーはTenant Managerにサインインできるようになります。

テナントマネージャーのダッシュボードを使用すると、テナントユーザーはストレージの使用状況を一目で監視できます。ストレージ使用状況パネルには、テナントが使用する S3 バケットのうち、最も容量の大きいものの一覧が表示されます。使用容量の値は、バケットまたはコンテナ内のオブジェクトデータの総量です。この棒グラフは、これらのバケットまたはコンテナの相対的なサイズを表しています。

棒グラフの上に表示されている値は、テナントが所有するすべてのバケットまたはコンテナに使用されているスペースの合計です。テナントが利用できる最大ギガバイト、テラバイト、またはペタバイト数がアカウント作成時に指定されている場合、使用済みおよび残りのクォータ量も表示されます。

Dashboard

16 Buckets
[View buckets](#)

2 Platform services
endpoints
[View endpoints](#)

0 Groups
[View groups](#)

1 User
[View users](#)

Storage usage ?

6.5 TB of 7.2 TB used

0.7 TB (10.1%) remaining



Bucket name	Space used	Number of objects
Bucket-15	969.2 GB	913,425
Bucket-04	937.2 GB	576,806
Bucket-13	815.2 GB	957,389
Bucket-06	812.5 GB	193,843
Bucket-10	473.9 GB	583,245
Bucket-03	403.2 GB	981,226
Bucket-07	362.5 GB	420,726
Bucket-05	294.4 GB	785,190
8 other buckets	1.4 TB	3,007,036

Top buckets by capacity limit usage ?

Bucket name	Usage
Bucket-10	82%
Bucket-03	57%
Bucket-15	20%

Tenant details ?

Name: Tenant02
ID: 3341 1240 0546 8283 2208
✓ Platform services enabled
✓ Can use own identity source
✓ S3 Select enabled

ストレージメニュー (S3)

このメニューでは、S3 ユーザーは次の操作を行うことができます：

- アクセスキーの管理
- バケットの作成、管理、削除
- プラットフォームサービスのエンドポイントを管理する
- 使用が許可されているグリッドフェデレーション接続を表示する

私のアクセスキー

S3テナントユーザーは、アクセスキーを以下のように管理できます。

- 「S3 認証情報の管理」権限を持つユーザーは、自身の S3 アクセスキーを作成または削除できます。
- ルートアクセス権限を持つユーザーは、S3ルートアカウント、自身のアカウント、および他のすべてのユーザーのアクセスキーを管理できます。ルートアクセスキーは、バケットポリシーによって明示的に無効化されていない限り、テナントのバケットおよびオブジェクトへの完全なアクセス権も提供します。



他のユーザーのアクセスキーの管理は、アクセス管理メニューから行います。

バケット

適切な権限を持つ S3 テナントユーザーは、自身のバケットに対して以下のタスクを実行できます。

- バケットを作成する
- 新しいバケットに対して S3 オブジェクト ロックを有効にする（S3 オブジェクト ロックが StorageGRID システムに対して有効になっていることを前提としています）
- 整合性値を更新する
- 最終アクセス時刻の更新を有効化および無効化する
- オブジェクトのバージョン管理を有効化または一時停止する
- S3オブジェクトロックのデフォルト保持期間を更新する
- クロスオリジンリソース共有（CORS）を設定する
- バケット内のすべてのオブジェクトを削除する
- 空のバケットを削除する
- ["S3コンソール"](#)を使用してバケットオブジェクトを管理する

グリッド管理者がテナントアカウントに対してプラットフォームサービスの使用を有効にしている場合、適切な権限を持つ S3 テナントユーザーは以下のタスクも実行できます：

- Amazon Simple Notification Service をサポートする宛先サービスに送信できる S3 イベント通知を設定します。
- CloudMirror レプリケーションを設定します。これにより、テナントはオブジェクトを外部の S3 バケットに自動的にレプリケートできます。
- 検索統合を設定すると、オブジェクトが作成、削除されたとき、またはそのメタデータやタグが更新されたときに、オブジェクトのメタデータが宛先の検索インデックスに送信されます。

プラットフォームサービスのエンドポイント

グリッド管理者がテナントアカウントに対してプラットフォームサービスの使用を有効にしている場合、エンドポイント管理権限を持つ S3 テナントユーザーは、各プラットフォームサービスの宛先エンドポイントを構成できます。

グリッドフェデレーション接続

グリッド管理者がテナントアカウントに対してグリッドフェデレーション接続の使用を有効にしている場合、ルートアクセス権限を持つS3テナントユーザーは、接続名を表示したり、クロスグリッドレプリケーションが有効になっている各バケットのバケット詳細ページにアクセスしたり、接続内の他のグリッドにバケットデータがレプリケートされたときに発生した最新のエラーを表示したりできます。["グリッドフェデレーション接続を表示する"](#)を参照してください。

アクセス管理メニュー

アクセス管理メニューでは、StorageGRID テナントはフェデレーション ID ソースからユーザーグループをインポートし、管理権限を割り当てることができます。テナントは、StorageGRID システム全体でシングル サインオン（SSO）が有効になっていない限り、ローカルテナントグループとユーザーを管理することもできます。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。